

### Ⅲ 教科に関する調査結果の分析

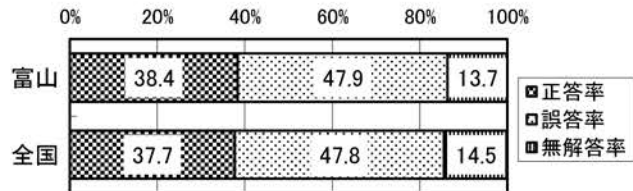
#### 1 小学校「国語」

##### (1) 問題番号3二 <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における内容：5・6学年 B書くことカ  
 評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。

- ・正答率は38.4%で、全国平均よりも0.7ポイント高いが、全問題中、最も低い。
- ・無解答率は13.7%（全国14.5%）で、全問題中、最も高い。
- ・誤答については、【文章2】のよさを見付けることができていない、言葉に表すことができていない解答が30.2%（全国28.4%）である。



**正答例**

わたしの文章のよさは、今年がんばりたいことを伝えるために、南さんの話や、さいばい委員の活動で反省したことを書いたり、運動委員として進めたい新たな活動を、最後の段落に具体的に書いたりしたところです。（九十九字）

**3**

鳥谷さんの手紙では、「六年生としてがんばりたいこと」を書くことになりました。次は、鳥谷さんが最初に書いた【文章1】と書き直した【文章2】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章1】

わたしは、五年生の時、異化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、みんなにそうじ用具の正しい使い方を教えてほしいという思いをもち、正しく使うことができていない学校の様子をうろくして、各学級に「こうかいした」という活動がすばらしいと思いました。

この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをほんせいしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたむことができるよう、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいたしたいです。

【文章2】

わたしのこの一年間、がんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、異化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいことだからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を教えてほしいという思いをもち、正しく使うことができていない学校の様子をうろくして、各学級にしようかいたしたいです。

この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをイばんせいしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人も、したむことができるよう、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいたしたいです。

二 鳥谷さんは、川口さんと【文章2】を読み合い、感想を伝え合いました。次の「伝え合いの様子」の【伝え合いの様子の一部】をよく読み、あとの問いに答えましょう。

【伝え合いの様子の一部】

鳥谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。

川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことをもとにしているからだね。

鳥谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。

川口さん 最後の段落がいいね。なぜかというところ、最初の段落の内容をより具体的に書いているから、今年がんばろうとしていることがよく伝わってきたよ。

鳥谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を伝えるね。

5（伝え合いが続く）

（問い） 鳥谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことになりました。あなたが鳥谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合致させて書きましょう。

（条件）

- 【文章2】のよさを書くこと。
- 【文章2】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十文字以上、百文字以内にとめて書くこと。

※各学級の課題は書き向うで、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。※の字から書きましょう。どちらのうで作業を覚えて、続けて書きましょう。

#### 学習指導上の留意点

○ 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるようになる

伝え合う経験を積み重ねていくことで、自分の文章のよいところを見付けたり、それを言葉で表したりすることができるようにすること、さらに、具体的に感想や意見を伝え合い、伝え合ったことを基にして自分の文章のよさを書くことができるようにすることが大切である。

#### 指導のポイント

- ・書き手の目的や意図をペアやグループで共通理解する場を設定し、書き手の目的や意図に応じた文章構成や展開になっているかを判断して、よさを見付ける活動を取り入れる。
- ・書き手が工夫したところを自ら伝えられるように、書きかえた理由を尋ねることで、書き手に思いを表出させ、工夫やよさに気付かせるようにする。
- ・互いの文章を読み合うことで、経験の取り上げ方や言葉の選び方、書き方の工夫を認め合い、自分の表現に生かす場を設定する。

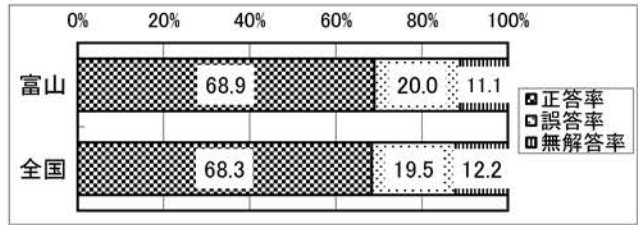
(2) 問題番号 2 二 <無解答率が高い問題>

学習指導要領における内容：5・6学年 C読むこと工

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる。

- ・正答率は68.9%で、全国平均よりも0.6ポイント高いが、無解答率が11.1%と高い。
- ・誤答については、森田さんが前向きな気持ちになることを挙げていることを踏まえて書いていない、【物語の一部】の内容に基づいて書いていないなどの解答が19.7%（全国19.2%）である。



**正答例**

夢をもち続けられ、いつかなえられるということ。 (二十六字)

2 森田さんの学級では、不思議な出来事が繰り返されている物語を読み、友達とせいせんし合うことになりました。森田さんは、「銀色の幻想」という題名の物語を選んで読み、気になるところにせんを付けています。次は、「物語のこれまでのあらすじ」と「物語の一部」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【物語のこれまでのあらすじ】 略

【物語の一部】

【前略】  
それは、全長七十センチ、直径三十センチほどの卵型の宇宙船の模型で、船首の円錐も、船尾の七つの尾翼も、船体の真ん中につけた大きめの窓も、先週、図工の時間に、ぼくが描いた宇宙船の絵にそっくりだった。

【中略】  
「模型よりも、本物を見たくないかい？」  
「ほんもの？」  
「裏のガレージにある。」  
ぼくは気が動転してしまった。

【中略】  
「これは、わしが、超光速推進（スペースワープ）装置の発明によって、賞をもらったときの写真なんだ。授賞式が六十九歳の誕生日と重なったんだから、記念に撮ってもらったんだよ。」  
「へえ、おじいちゃんには有名なんだね。」  
ぼくは言って、ポトレートの額縁に刻まれた文字を見て、どきどきした。  
「ヒロキ・タバナ教授・科学アカデミー賞受賞記念」とあったのだ。  
「ぼくと同じ名前だ。」  
同姓同名か……。そんなことは世間ではいくらでもあるが、やはり、ぼくは老人にさらに親近感を深めて、笑いかけた。

宇宙船の外に出ると、老人は言った。  
「このワンダーボール一号、気に入ったかね？この船を見せたかったんだよ。」  
ワンダーボール一号。

それは、ぼくが図工の時間に描いた宇宙船、未来から過去へ、過去から未来へ、時間の壁を越えて自由に飛翔するあの宇宙船に、ひそかに付けた名前だ。だれにも、教えたことがなかったのに。

【後略】  
二 森田さんは、物語から伝わってくることをまとめ、せいせんする文章を書いています。次は、「森田さんの文章」です。あなたが森田さんなら、Aに入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【森田さんの文章】

これは、「過去や未来にいろいろな船を降りたい」と思っている「ぼく」と、そんないろいろな船を作った「老人」の物語です。  
この物語は、「老人」が未来の「ぼく」からしれぬいと思わせる表現をさがして読み取らなことを味わうことのできる物語です。それだけでなく、この物語を読むと、わたしは前向きな気持ちになります。なぜかというところ、「老人」に出会った「ぼく」を通して、この物語がわたしに伝えていることがあふれています。それは、

A

（条件）  
○ この物語から伝わってくることを考えて書くこと。  
○ 十字以上、三十文字以内にとめて書くこと。

※生の黒鉛用紙は下書き用紙です。使っても使わなくてもかまいません。解答は、黒鉛用紙に書きましょう。赤い印から書きましょう。どこまで行っても書きません。続けて書きましょう。

学習指導上の留意点

- 人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるようにする  
叙述を基に捉えた登場人物の相互関係や心情の変化等を手掛かりに、その人物像や物語等の全体像を具体的に思い描くことが大切である。

指導のポイント

- ・登場人物の行動や会話、様子等を表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方等、人物像を具体的に想像させる。
- ・物語の全体像は、登場人物や場面設定、個々の叙述等を基にした物語の世界や人物像等を豊かに想像したり、登場人物の相互関係を手掛かりにして考えたりすることで捉えさせる。さらに、象徴性や暗示性の高い表現、メッセージや題材を強く意識させる表現等に着目して読むことが、物語の全体像を具体的に想像することにつながることに気付かせる。
- ・着目した叙述を複数取り上げ、そこから考えられることをノートやワークシートにまとめたり、考えたことを交流したりすることで物語の全体像を明確にさせる。

・参考：報告書 平成30年度 P.32～P.33